

1. 申請者の概要等 (項目を確認のうえ、記載してください。選択項目は、該当するものに☑してください。)

(1) 申請者

フリガナ 氏名		性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	<input type="checkbox"/> 大正 <input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 年 月 日(才)
連絡先住所等	〒 -	創業または 事業承継 直前の職業		<input type="checkbox"/> 1. 会社役員 <input type="checkbox"/> 2. 個人事業主 <input type="checkbox"/> 3. 会社員 <input type="checkbox"/> 4. 専業主婦・主夫 <input type="checkbox"/> 5. パートタイマー・アルバイト <input type="checkbox"/> 6. 学生 <input type="checkbox"/> 7. その他()
	TEL/携帯(必須)			
	FAX (任意)			
	E-mail (必須)			
本事業以外の 事業経営経験	<input type="checkbox"/> 事業を経営したことがない。 <input type="checkbox"/> 事業を経営したことがあり、現在もその事業を続けている。 ↳ 事業形態 [<input type="checkbox"/> 個人事業 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 企業組合・協業組合 <input type="checkbox"/> 特定非営利法人] 事業内容 [] <input type="checkbox"/> 事業を経営していたが、既にその事業をやめている。 [やめた時期 : <input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和 年 月)			
職歴	年 月			
	年 月			
	年 月			
	年 月			

(2) 事業形態 (事業承継の場合は、承継後の状況を記載してください。)

開業・法人設立日 事業承継日 (予定日)	令和 年 月 日	屋号・企業名 (予定)	
事業実施地 (予定地)	〒 - 公募要領P29を参照	事業形態	<input type="checkbox"/> 1. 個人事業 <input type="checkbox"/> 2. 会社設立 ↳ <input type="checkbox"/> 2-1 株式会社 <input type="checkbox"/> 2-2 合名会社 <input type="checkbox"/> 2-3 合資会社 <input type="checkbox"/> 2-4 合同会社 <input type="checkbox"/> 3. 組合設立
主たる業種 (経済センサス 中分類を記載)	中分類名: コード(2桁):		
資本金または出資金 (会社・組合)	千円 (うち大企業が)		
株主または出資者数 (会社・組合)	(うち大企業が)	<input type="checkbox"/> 内訳の合計となるように人数を記載 <input type="checkbox"/> 事業期間終了時点(最長令和5年12月末)の人数を記載 <input type="checkbox"/> パート・アルバイトの考え方については公募要領P.33を参照	
役員・従業員数 ※事業承継の場合 は、既存の従業員と 新規雇用の合計	合計	名 内訳 ②正規従業員 : 名 ③パート・アルバイト	
事業に要する許認可・免許等 (必要な場合は記載必須)	許認可・免許等 取得見込み時期:	<input type="checkbox"/> 許認可が必要な業態について記載ください。(例: 飲食店、美容室、食品製造業、旅館業⇒保健所営業許可)	
改修工事や設備導入する場合の所要期間	所要期間(最長):	ヶ月	
地域課題解決への 寄与に係る該当項目	<input type="checkbox"/> 地域活性化関連 <input type="checkbox"/> まちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 過疎地域等活性化	<input type="checkbox"/> 地域交通支援 <input type="checkbox"/> 環境関連	<input type="checkbox"/> 必ず一つ以上は選択し、次ページの「2. 事業内容」にて <input type="checkbox"/> どの様に貢献するか具体的に記載して下さい。
特定非営利活動法人 の場合のみ記載	特定非営利活動の 種類	<input type="checkbox"/> ア)中小企業者と連携して事業を行うもの <input type="checkbox"/> イ)中小企業者の支援を行うために中小企業者が主体となって 設立するもの <input type="checkbox"/> ウ)新たな市場の創出を通じて、中小企業の市場拡大にも資する 事業活動を行うものであって、有給職員を雇用するもの	

2. 事業内容

※記載にあたっては、適宜、枠を広げていただき、複数ページになっても構いません。

(1) 地域が抱える課題と当社の貢献内容とデジタル技術の活用

(具体的な地域の課題を記載してください。その後、当社が行う事業がどのように貢献するか、**当社が行う事業においてデジタル技術をどの様に活用していくのかを記載してください**)

本補助事業では「地域課題の解決」が要件の一つとなっていますが、令和5年度から「デジタル技術の活用」が追加されますので、必ず記載してください。「地域課題」や「貢献内容」が不明瞭な場合は、補助対象外となる可能性がありますのでご注意ください。

(2) 創業または事業承継予定の事業概要

(業種、創業または事業承継の動機やきっかけ、目標、経験、営業日、店舗・事業所の立地環境等について記載してください)

(3) 顧客ニーズと市場の動向

(主な客層、ニーズ、市場や競合企業の状況等について記載してください)

(4) 自社や自社が提供予定の商品・サービスの内容と強み
 (具体的な商品・サービスの内容、**顧客の利便性の向上につながるデジタル技術の活用**、特徴、価格、材料、生産方法等について記載してください)

本事業期間中に、新たに雇用する人数を記載してください。
 創業後に雇用することが**確定している方がいる場合は、確定数 と氏名を記載**してください。

(5) 雇用創出人数(事業期間中の新規雇用予定人数を記載) ※公募要領の33ページを参照のこと

予定雇用数	正規従業員	名 (うち有期雇用 名)	パート アルバイト	名 (うち有期雇用 名)
うち採用 確定数		名 (うち有期雇用 名)		名 (うち有期雇用 名)
確定の場合の氏名				

(6) まち・ひと・しごと創生総合戦略または地域産業活性化計画との整合性 **(任意記入)**

① まち・ひと・しごと創生総合戦略または地域産業活性化計画の記載部分

(ページ数及び該当箇所)
 ※別途、該当箇所の印刷物を提出してください。

任意での記入部分となりますが、記入する場合は、記載部分を抜粋してください。
 例) ●●市まち・ひと・しごと創生総合戦略
 P. ●●「地域の農水産物を活用した商工業の推進」
 また、該当箇所が記載されているページを印刷したものを提出してください。
 ※まち・ひと・しごと創生総合戦略等の全ページを印刷する必要はありません。

② 本事業との合致部分

当社の事業内容と関連する部分を記載してください。
 例) 当社では、地元農家とコラボして開発したレシピをもとにメニュー展開することで、●●市が推進している農産物の知名度向上に寄与していきたい。

3. 3ヶ年計画

別添の (様式第2号・別紙) 事業計画書(3ヶ年計画)に記載のとおり

4. 他の補助金等の実績説明 (該当案件がある場合のみ記載)

<他の補助金を受けた実績または申請・実施予定>

①補助金・委託費名称	
②事業主体(関係省庁等)	
③テーマ名	
④実施時期/補助金等金額	/ 千円

5. 本事業全体に係る資金計画

記入例

新事業の立ち上げ期間(補助事業期間)に必要な全ての資金と調達方法を記載してください。

補助事業期間は **交付決定日 ~ 最長令和5年12月31日(土)迄**です。月数積算の場合はこの期間を基準に計画してください。

(単位:千円・税込)

必要な資金		金額	調達の方法		金額
運転資金	(内容)		自己資金・借入など	自己資金	3,779
	・仕入(1ヶ月分)	330		金融機関からの借入金 ※必ず、事前に金融機関に相談を行ってください。事前相談していない借入については記載できません。	1,000
	・人件費(正規従業員1名・1ヶ月分)	200		(調達先) (●●金融機関)	
・人件費(アルバイト1名・1ヶ月分)	100	(●●金融機関)	その他 (本事業の売上金、親族からの借入等) (内容) ()		
	・店舗等借入費(3ヶ月)	396	自己資金・借入などの合計(③)	4,779	
	・水道光熱費(1ヶ月分)	110	補助金	補助金交付申請額(④) (「6. 補助対象経費明細表」の補助金交付申請額と一致)	2,000
	・広告宣伝費	121			
	・消耗品費 (創業準備分及び1ヶ月分)	440	合計(① + ②)	合計(③ + ④)	6,779
	・リース料(1ヶ月分)	22			
	・その他諸経費	330			
	運転資金の合計(①) ※「3. 3ヶ年計画」の(c)売上原価、 (d)販売管理費と整合性が取れるように ご注意ください。	2,049			
設備資金	(内容)				
	・店舗改修費	2,915			
	・冷蔵庫×2	275			
	・冷凍庫	220			
	・オープン	110			
・フライヤー	110				
・圧力鍋	55				
・什器類一式	330				
・軽自動車	715				
	設備資金の合計(②) ※「3. 3ヶ年計画」の(d)販売管理費と 整合性が取れるようにご注意ください。	4,730			
合計(① + ②)		6,779	同額		

《補助金交付申請額の調達方法》

方法	金額
自己資金	
金融機関からの借入金 (●●金融機関)	2,000
その他 ()	
【合計】 ※(上記④)及び「6. 補助対象経費明細表」 の補助金交付申請額と一致)	2,000

同額

※補助金は補助事業期間終了後に検査を経て精算払いする形となりますので、補助金支払いまでの間、応募者ご自身で補助金交付申請額の相当額を立替していただく必要があります。

その調達方法について、上表《補助金交付申請額の調達方法》に記載してください。

6. 補助対象経費明細表

（「5. 本事業全体に係る資金計画」の内容の中から、補助事業期間中に補助対象とするものを記載してください。

補助事業期間は令和5年〇〇月頃～最長令和5年12月31日(日)迄です。月数積算の場合はこの期間を基準に計画してください。）

※補助対象とするものは公募要項10ページに記載された、補助対象経費のことで。

(単位:円)

経費区分	(1)補助対象経費 (税込)	(2)補助対象経費 (税抜)	(2)補助金交付 申請額 ※(2)×1/2以内)	(3)補助対象経費の内訳 (積算明細)
① 人件費	200,000	200,000	100,000	
② 店舗等借入 費	396,000	360,000	180,000	
③ 設備費	770,000	700,000	350,000	
④ 改修費	2,915,000	2,650,000	1,325,000	
⑤ 広告宣伝費	121,000	110,000	45,000	
⑥ 研究開発費				
⑦ 従業員の教育 訓練費				
合計額	4,402,000 円	4,020,000 円	2,000,000 円	※(2)補助金交付申請額の上限は 200万円となります

(注1) (2)補助金交付申請額の計算方法は、(2)「補助対象経費」に補助率を乗じてとなります。

(注2) 補助対象経費欄及び補助金交付申請額欄に数字を必ず記入してください。

(注3) 応募(採択)段階で記載した補助対象経費の内容及び金額全てが認められることではありません。審査及び実績報告段階において、内容及び金額を精査いたします。

補助金額が200万円を超える場合は、範囲内に収まるよう、補助対象経費の1/2以内で各科目の補助金額を調整してください

(注4) 採択後に事業を実施する際に、当初申請(計画)に記載が無い取組(支出)は認められませんのでご注意ください。

・前ページの「5. 本事業全体に係る資金計画」のうち、補助金での支援を受けたい経費を選択して記載してください。

※本ページにて申請していない経費については、採択を受けたとしても対象とならないため、慎重にご検討ください。

例) 広告宣伝費にてチラシ作成と折込費用しか申請していなかった場合、採択後にホームページの作成を希望したとしても原則対象となりません。

7. 補助対象経費明細表に記載した具体的な内容

申請する補助対象経費をどのように使用し、活用するのか、補助金の使用用途が分かるように記述してください。

「6. 補助対象経費明細表」に記載し、補助を受ける経費がどのようなものなのか、なぜ必要なのか等、簡潔に記載ください。

特殊な設備等であれば、文章と合わせて写真もつけるなど、読み手に分かりやすくなるよう、適宜、工夫いただいて構いません（複数ページになっても構いません）。

【記載例】

以下は前のページに記載されている記載例から主な経費を抜粋したものです。実際には補助対象経費明細表に記載した経費はすべて内訳を記載してください。

① 人件費：200,000円

(内訳) 正規従業員：1名(月額20万円×1ヶ月分)

役割：ホール全般の運営やテイクアウトを行うにあたっての予約受付・テイクアウト窓口での接客を行う。

② 設備費

(内訳)

・冷蔵庫：150,000円

(4ドア冷蔵庫。食材保存用として利用)

・冷蔵庫：100,000円

(4面ガラス冷蔵ショーケース。主にドリンク類の保存用として利用)

・冷凍庫：200,000円

(2ドア冷凍庫。冷凍食材保存用として利用)

・オープン：100,000円

(業務用ガス高速オープン。業務用オープンを用いることで、高温度でムラなく、短時間での調理が可能となる。)

・フライヤー：100,000円

(業務用二層式ガスフライヤー。大量の揚げ物料理を調理する際に効率的に調理が可能となる。特に弁当、オードブルなどのテイクアウト料理も当店の主力商品と考えていることからランチタイムなど短時間でまとまった量の調理が必要となるため。)

・圧力鍋：50,000円

(煮込み料理等、長時間調理が必要な料理を効率的に調理が可能となる。具体的には、当店の看板メニューとする予定の●●料理が通常であれば●時間かかるところ、▲時間に短縮できる。コース料理など前日の急な予約でも圧力鍋を活用することで受注可能となるため、失注も防ぐことができる。)

③ 改修費

(内訳)

・外装工事：500,000円

(店舗外壁の塗装、看板設置などを行う)

・内装工事：700,000円

(店舗内部のクロス張りやパーテーション、カウンター、棚などの製作・設置を行う)

・電気工事：300,000円

(店舗の配線、分電盤設置、コンセント設置、照明類の設置などを行う)

・空調工事：600,000円

(厨房の換気扇、ホールの換気設備、エアコンの設置等を行う)

・ガス工事：250,000円

(厨房のガス工事を行う)

・水道工事：300,000円

(厨房の上下水工事、トイレの改修工事等を行う)